



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# Red Hat Enterprise Linux 8.2 Supplement for Service Pack for ProLiant 2020.03.0 リリースノート

法律および通知情報

© Copyright 2020 Hewlett Packard Enterprise Development LP

**ドキュメント履歴:**

リリース日	説明
2020年6月	初期バージョン

# 目次

---

概要.....	4
アップデートの推奨事項 .....	4
整合性.....	4
変更の概要.....	4
重要な注意 .....	4
リリースの概要 .....	5
前提条件 .....	5
Linux 上での SUM の実行.....	5
展開の手順.....	6
コンポーネントリリースノート.....	6

## 概要

---

Service Pack for ProLiant (SPP) サプリメントは、展開ツールとして SUM を含むソフトウェアおよび/またはファームウェアコンポーネントを含めたバンドルです。SPP のコンポーネントと連動していない新しいオペレーティングシステムのアップデートまたは SPP に含まれていない機能をサポートすることが可能です。サプリメントに含まれるソフトウェアおよびファームウェアは、通常の SPP のリリースサイクル外で必要とされる機能のサポートを提供します。サプリメントは、必要なときに HPE がドライバーのサポートを提供することができるため、カスタマーは完全な SPP が利用可能になるのを待つ必要がなくなります。

各 SPP サプリメントのバージョン番号は、対応する SPP のバージョンと一致しています。サプリメントのリリースノートは、利用可能で、バンドル内のコンポーネントに関する情報が含まれます。サプリメントのコンテンツが Linux コンポーネントを含む場合、コンポーネントは Linux Software Delivery Repository (SDR) でも利用可能です。一旦リリースされたら、SPP サプリメントのコンテンツの機能が次の利用可能な SPP に含まれます。

SPP に関連付けられたホットフィックスは、SPP サプリメントでも動作します。ホットフィックスが、サプリメントでサポートされているオペレーティングシステムをサポートしているかどうかを確認してください。SPP ホットフィックスの詳細については、[SPP Information Library ページ](#)にある SPP のリリースノートを参照してください。

これは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.2 Supplement for Service Pack for ProLiant 2020.03.0 です。

RHEL 8.2 でサポートされるサーバーについて詳しくは、以下の OS サポートサイト <https://www.hpe.com/servers/ossupport> を参照してください。

製品名	コメント
Red Hat Enterprise Linux 8.2 Supplement for Service Pack for ProLiant 2020.03.0	ソフトウェアコンポーネントを含むバンドル ファイル名: supspp-2020.03.rhel8.2.en.tar.gz

### アップデートの推奨事項

オプション - ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

### 整合性

Service Pack for ProLiant 2020.03.0

## 変更の概要

---

### 重要な注意

この文章全体で使用されているサプリメント、Service Pack for ProLiant または SPP の用語

は、明示的に述べない限り、概要セクションの表の配布物のすべてを示しています。

**⚠ 任意のコンポーネントをシステムにインストールする前に、インストール手順で問題が発生した場合にシステムの最新のバックアップが利用できることを確認してください。**

## リリースの概要

この Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.2 Supplement for Service Pack for ProLiant のリリースの概要は以下のとおりです。

Red Hat Enterprise Linux 8.2 のサポートを追加しました。

この March に付属するドライバーか、RHEL8.2 ディストリビューションで提供されるドライバーのいずれかを使用できます。ただし、ディストリビューションの最初のリリースに付属するドライバーには、このサプリメントで利用できる HPE の追加機能の一部が含まれていないことがあります。これらの機能は将来の SPP リリースで追加されます。

このサプリメントは、SPP 2020.03.0 に対応しています。

この Service Pack for ProLiant (SPP) で提供されるすべてのコンポーネントは、一緒にテストされ、Service Pack for ProLiant 内の他のコンポーネントの依存関係を満たしています。

以下の製品に同梱されているソフトウェアとファームウェアコンポーネントを使用しているシステムは、簡単にこのサプリメントのコンポーネントに移行できるようになります。

製品	バージョン
Service Pack for ProLiant	2020.03.0
	2019.12.0
	2019.09.0

## 前提条件

### Linux 上での SUM の実行

**⚠ インストール処理に失敗したときのために、ターゲットシステムにソフトウェアアップデートをインストールする前に、ターゲットシステムの最新のバックアップがとられていることを確認してください。**

Linux オペレーティングシステムのリモートターゲットシステムで SUM を正常に展開するには、以下が利用可能であることが必要です。

- libcrypt.so
- libcrypt.so.1
- /usr/lib/libqlsdm.so
- /usr/lib64/libqlsdm-x86\_64.so

- /lib/cim/libqlsdm.so
- /usr/lib/libemsdm.so
- /usr/lib64/libemsdm.so
- /lib/cim/libemsdm.so
- /usr/lib/bfahbaapi.so
- /usr/lib64/bfahbaapi.so
- /lib/cim/bfahbaapi.so
- linux-vdso.so.1
- /lib64/libcrypt.so.1
- /lib64/libpthread.so.0
- /lib64/libz.so.1
- /lib64/libdl.so.2
- /lib64/librt.so.1
- /usr/lib64/libstdc++.so.6
- /lib64/libm.so.6
- /lib64/libgcc\_s.so.1
- /lib64/libc.so.6
- /lib64/ld-linux-x86-64.so.2

## 展開の手順

---

このサブプリメントは、オペレーティングシステムのインストール後に使用するよう設計されています。これにより、ドライバーのアップデートと、HPE ユーティリティ(ヘルスや iLO ドライバーなど)およびエージェント(サーバー、NIC、およびストレージ)のインストールが可能になります。

サポートされている Linux オペレーティングシステム上で SPP サブプリメントおよびそれに対応する SPP を使用することにより、標準の Linux インストールツール(YUM/Zypper)または HPE 管理ツール(SUM/OneView)のいずれかを選択して以下のことを実行できます。

- サブプリメントおよび SPP で提供されたソフトウェアおよびファームウェアを使用します。
- SPP に提供されるファームウェアを使用したり、Software Delivery Repository <https://downloads.linux.hpe.com/SDR> からソフトウェアを入手したりします。
- SPP で提供されるファームウェアおよびソフトウェアユーティリティと、オペレーティングシステムのディストリビューションから入手可能なドライバーを使用します。

コンポーネントは所定の展開に応じて、SUM カスタムベースラインを使用して単一の ISO に組み合わせたり、別のパッケージとして適用したりできます。

## コンポーネントリリースノート

---

[ソフトウェア - Lights-Out マネジメント](#)

[ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル HBA](#)

[ソフトウェア - システム マネジメント](#)

ソフトウェア - Lights-Out マネジメント

HP Lights-Out オンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.5.0-0 (推奨)

ファイル名: hponcfg-5.5.0-0.x86\_64.compsig; hponcfg-5.5.0-0.x86\_64.rpm

先頭

## 前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3 ファームウェアバージョン 1.00 以降
- Integrated Lights-Out 4 ファームウェアバージョン 1.00 以降
- Integrated Lights-Out 5 ファームウェアバージョン 1.20 以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5 の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x 以降が必要です。  
openssl を手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に /usr/bin/openssl を再配置している場合は、PATH 環境変数を設定し、正しい意図した openssl に HPONCFG をダイレクトする必要があります。

## 修正

ホストの OpenSSL FIPS モードをサポートするために OpenSSL API 呼び出しをアップデートしました。

---

### ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル HBA

[先頭](#)

HPЕ QLogic Smart SAN Enablement Kit for Linux

バージョン: 3.3-3 (h) (オプション)

ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86\_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86\_64.rpm

### 重要な注意!

3PAR Smart SAN ユーザーガイドを取得するには、以下のリンクから Storage Information Library を参照してください:

[Storage Information Library](#)

(<http://www.hpe.com/info/storage/docs/>)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が下記から選択されます

### 製品およびソリューション

## 前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能な SPOCK を参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN 機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前に HPE で指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.com のウェブサイト [www.hpe.com](http://www.hpe.com) で利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FC ドライバーキット for HPE Qlogic CNA、HBA およびメザニン HBA、バージョン 8.07.00.42.06.0-k1
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA および CNA バージョン 8.07.00.42.07.0-k1
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FC ドライバーキット for HPE Qlogic CNA、HBA およびメザニン HBA、バージョン 8.07.00.42.11.3-k
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FC ドライバーキット for HPE QLogic CNA、HBA およびメザニン HBA および CNA バージョン 8.07.00.42.12.0-k1

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントの Enablement Kit ファイルを取得します。

## 改良点:

RHEL8 および SLES15SP1 のサポートが追加されました

バージョン 3.3-3 にアップデートしました

## **サポートされるデバイスおよび機能**

このインベールメントキットは、以下の HPE アダプターでサポートされています。

### **Gen4 ファイバーチャネルホストバスアダプター:**

- HPE 81Q PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gb デュアルポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8Gb ファイバーチャネル HBA
- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、BladeSystem 用

### **Gen5 ファイバーチャネルホストバスアダプター:**

- HPE QMH2672 16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem 用
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 2ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1000Q 16Gb 1ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター

### **Gen6 ファイバーチャネルホストバスアダプター:**

- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 2ポート PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIe ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb デュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

### **Gen7 ファイバーチャネルホストバスアダプター:**

- HPE SN1610Q 32Gb 2P FC HBA
- HPE SN1610Q 32Gb 1P FC HBA

---

## **ソフトウェア - システムマネジメント**

**先頭**

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.1.1 (**推奨**)

ファイル名: amsd-2.1.1-1412.2.rhel8.x86\_64.compsig; amsd-2.1.1-1412.2.rhel8.x86\_64.rpm

### **前提条件**

- **amsd は、HPE Gen10 サーバー上のみでサポートされています。**
- **amsd は、SNMP サポートを提供している iLO 5 サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要な iLO 5 ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小 OS バージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

### **修正**

以下を修正しました:

- HPE Agentless Management Service (iLO 5)(amsd) for Linux の ahslog サービスは、システムの起動中に segfault することがあります。これが発生している間、ユーザーは systemctl から "Failed to start Active Health Service Logger" メッセージを見ることができます。詳しくは、カスタマーアドバイザリ [a00099165en\\_us](https://support.hpe.com/hpsc/swupdate/public/detail?swItemId=a00099165en_us) を参照してください。
- iLO の通信の安定性に対処します。iLO の負荷が高く、iLO と OS 間の通信量が多いなど、状況によっては問い合わせに失敗することがあります。



---

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.10.0 (オプション)

ファイル名: hp-ams-2.10.0-861.5.rhel8.x86\_64.rpm

### 前提条件

- hp-ams は、HP ProLiant Gen8 および Gen9 サーバーでサポートされています。
- hp-ams は、SNMP サポートを提供している HP iLO 4 サービスに情報を提供します。
- HP iLO 4 上で SNMP パススルーを無効にして、SNMP が HP iLO 4 上で構成されている必要があります。HP iLO 4 は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。
- 要件:
  - 最低限必要な HP iLO 4 ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要な OS バージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

### 修正

以下を修正しました。

- コマンドラインパラメーター“pv6.disable=1”を使用してカーネルを起動した場合、amsHelper でメモリーリークが発生し、最終的にサーバーのパフォーマンスが低下しました。

---

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Linux 64-bit

バージョン: 4.17.6.0 (オプション)

ファイル名: ssacli-4.17-6.0.x86\_64.compsig; ssacli-4.17-6.0.x86\_64.rpm; ssacli-4.17-6.0.x86\_64.txt

### 重要な注意!

HPE SSA CLI は従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存の ACUCLI スクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

### 修正

分割ミラープライマリレイのアクセラレーションモードは、キャッシングを有効にできる論理ドライブがアレイに含まれていない場合でも、個々の論理ドライブに対してキャッシングを有効または無効にできるという無効なメッセージを表示します。

---

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux 64-bit

バージョン: 4.17.6.0 (オプション)

ファイル名: ssa-4.17-6.0.x86\_64.compsig; ssa-4.17-6.0.x86\_64.rpm; ssa-4.17-6.0.x86\_64.txt

### 重要な注意!

HPE SSA は既存の HP アレイコンフィギュレーションユーティリティ、または ACU のデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々な Smart Storage イニシアチブのために新機能と機能性を提供します。HPE Smart Array Advanced Pack 1.0 および 2.0 の機能は、適切なファームウェア(の使用)により HPE SSA のベースライン機能の一部となりました。

HPE SSA は従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。既存の ACU スクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

### 前提条件

HPE Smart Storage Administrator for Linux は、サーバーに HPE System Management Homepage ソフトウェアがインストールされている必要があります。サーバーに HPE System Management Homepage ソフトウェアがインストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linux をインストールする前に、HPE.com からダウンロードしてインストールしてください。

**重要なアップデート:** HPE SSA (GUI) for Linux は、HPE System Management Homepage を必要とせず、実行することができます。HPE SSA は、Linux 用のローカルアプリケーションモードをサポートするようになりました。HPE System Management Homepage はサポートされていますが、HPE SSA GUI の実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

このコマンドは新しい Firefox ブラウザーウィンドウで HP SSA を開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、HPE SSA は自動的に終了します。これは、ループバックインタフェースだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

## 修正

分割ミラープライマリレイのアクセラレーションモードは、キャッシングを有効にできる論理ドライブがアレイに含まれていない場合でも、個々の論理ドライブに対してキャッシングを有効または無効にできるという無効なメッセージを表示します。

---

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux 64-bit  
バージョン: 4.17.6.0 (オプション)  
ファイル名: ssaducli-4.17-6.0.x86\_64.compsig; ssaducli-4.17-6.0.x86\_64.rpm; ssaducli-4.17-6.0.x86\_64.txt

## 重要な注意!

HPE Smart Storage Administrator の診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLI からのみ利用できます。診断レポートの GUI バージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) を使用してください。

## 修正

分割ミラープライマリレイのアクセラレーションモードは、キャッシングを有効にできる論理ドライブがアレイに含まれていない場合でも、個々の論理ドライブに対してキャッシングを有効または無効にできるという無効なメッセージを表示します。

---

HPE SNMP エージェント for Red Hat Enterprise Linux 8 Server  
バージョン: 10.9.1 (推奨)  
ファイル名: hp-snmp-agents-10.91-670.5.rhel8.x86\_64.rpm

## 前提条件

hp-health および hp-snmp-agents は、x86\_64 環境では 32 ビットアプリケーションとして起動します。Linux カーネル 32 ビット互換が有効にされていて(通常 Linux ではデフォルト)、32 ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agents に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

```
rpm -qp --requires hp-snmp-agents-<version>.rpm
```

## 修正

以下を修正しました:

- HPE ProLiant Gen9 サーバーまたは HPE Synergy Gen9 コンピュートノード上の hp-snmp-agents サービスバージョン 10.9.0 で、hp-snmp-agents サービスのインストールまたは再起動後に segfault が発生する場合があります。cmahostd または cmapeerd プロセスは、segfault の後で強制終了されます。詳しくは、カスタマーアドバイザリ [a00098957en\\_us](https://support.hpe.com/a00098957en_us) を参照してください。
- hp-snmp-agents によって報告される OS バージョンが、新しい Linux OS ディストリビューションと一致しませんでした。つまり、"SUSE Linux Enterprise Server 12"と"SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5"です

---

HPE システムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 8 Server  
バージョン: 10.9.1 (オプション)  
ファイル名: hp-health-10.91-1878.11.rhel8.x86\_64.rpm

## 前提条件

hp-health および hp-smnp-agents は、x86\_64 環境では 32 ビットアプリケーションとして起動します。Linux カーネル 32 ビット互換が有効にされていて (通常 Linux ではデフォルト)、32 ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-health に関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

```
rpm -qp --requires hp-health-< version >.rpm
```

## 修正

Red Hat Enterprise Linux 8 Server の初回サポートです

---

HPE System Management Homepage for Linux(AMD64/EM64T)

バージョン: 7.6.5-3 (推奨)

ファイル名: hpsmh-7.6.5-3.x86\_64.rpm

## 重要な注意!

SMH 7.6.0 以降のバージョンは Gen 8 および Gen 9 サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースは SMH web ページ上でのみ行われます。HPE SMH [リリースノート](#)を参照してください。

Linux OS のユーザー用のご注意

- パスワードファイルの編集またはその他の方法により、"hpsmh"ユーザー(インストール中に作成)にログインアクセスを提供しないでください。
- "hpsmh"グループ(インストール中に作成)にユーザーを追加しないでください。

## 前提条件

SMH ソフトウェアをインストールする前に、RPM が必要なバージョンの Linux ライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーは RPM をインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

## 修正

新しい OS のサポート

- RHEL 8
- SLES15 SP1

## 既知の制限事項

Red hat Enterprise Linux 8.x オペレーティングシステムに Linux System Management Homepage をインストールする前に、Red hat Enterprise Linux 8.x オペレーティングシステムに libnsl.so.1 ファイルを提供する libnsl パッケージをインストールしてください。

---

HPE System Management Homepage テンプレート for Linux

バージョン: 10.8.1 (オプション)

ファイル名: hp-smh-templates-10.8.1-1487.3.noarch.rpm

## 前提条件

すべての依存関係がインストールされていないと、**hp-smh-templates** RPM インストールが失敗します。管理者は、このコマンドを実行することにより、必要な依存関係の一覧を検証できます。yum または zypper により使用されているリポジトリにこれらの依存関係が含まれている場合は、インストールツールにより自動的に取得されます。ただし、存在しない場合は、RPM のインストールに進む前に、ユーザーが主導でインストールする必要があります。

hp-smh-templates のすべての依存ファイルのリストを取得するには、次のように入力します。

```
rpm -qp --requires hp-smh-templates-<version>.rpm
```

**修正**

Red Hat Enterprise Linux 8 Server の初回サポートです